

すく SUKU SUKU PLAZA すく 児童館だより 2月1日～3月10日



★各児童館共通 開館時間 9:30～17:00(3月から9:30～18:00) 休館日 日曜日・祝日
おしらせ：2月末日まで閉館時間が17:00に変更となります。

	さくら児童館 ☎65-6191	白鳥児童館 ☎66-1036	栄南児童館 ☎68-6266	弥生児童館 ☎65-8107	大藤児童館 ☎68-4101	東部児童館 ☎52-4611
伝承遊びを楽しもう (小学生対象)	2月13日(木) 16:00～		2月26日(水) 16:00～		2月12日(水) 16:00～	
卓球をしよう (小学生対象)	2月15日(土) 14:00～16:00	2月22日(土) 14:00～16:00		2月8日(土) 14:00～16:00	2月15日(土) 14:00～16:00	2月15日(土) 14:00～16:00
将棋をしよう (小学生対象)				2月19日(水) 16:00～		
豆まきをしよう	2月1日(土) 10:30～ 「鬼は～そと!」「福は～うち!」大きな声で元気に豆まきをしましょう。					
★ひな人形づくり (小学生対象)	2月15日(土) 10:30～ 定員20名	2月15日(土) 10:30～ 定員20名	2月15日(土) 14:00～ 定員15名	2月15日(土) 10:30～ 定員20名	2月15日(土) 10:30～ 定員20名	2月22日(土) 14:00～ 定員20名

※お話しタイムはさくら・大藤(月曜日)、白鳥・栄南・弥生・東部(木曜日)10:30～・16:00～に行います。
※定員がある行事で、市外の方が参加を希望される場合は、各児童館にお問い合わせください。
※★マークのある行事は申し込みが必要です。

子育て支援センター “みんなで子育て” 応援します!



子育てに困っていること、悩んでいることありませんか? 子育ての喜びや悩みを分かち合い、一緒に子育てしましょう!

★各支援センター共通 開館時間 8:30～17:15 休館日 土・日曜日、祝日

ひので子育て支援センター ☎66-0008 弥生子育て支援センター ☎65-8211 東部子育て支援センター ☎52-4612	相談日 月～金曜日	行 事
	電話相談 9:00～16:30 面接相談 13:00～16:30 訪問相談 13:00～15:30(要予約) 臨床心理士の個別相談(要予約)	なかよしひろば、あおぞらひろば、年齢にあわせて、わくわくベビー、キッズ、チャイルド、フレンズ、マタニティーを行っています。 ※「わくわくだより」・ホームページを通して情報と日程をお知らせします。

※詳しくは、各子育て支援センターにお問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター

利用会員と協力会員が
助け合う組織です

受付 月～土曜日 / 9:30～17:45 (土曜日は電話受付のみ)

休業日 日曜日・祝日

事務所で、平日9:30～17:45まで会員登録をしています。

利用会員入会出張所	2月27日(木)14:00～14:30受付	ところ／保健センター 1階 ロビー 持ち物／印鑑・母子手帳
利用予約	月～土 9:30～17:45	☎52-0922 基本事業、病児・病後児保育の利用は、事前に会員登録が必要です。
病児・病後児保育利用	月～金 8:30～17:00	専用保育施設 キッズケアルーム「えがお」

協力会員募集中! ※詳しくはファミリー・サポート・センター ☎52-0922 へお問い合わせください。



保育のひろば

大藤保育所

高めよう!防災意識

～体験から学ぶ子どもたち～

大藤保育所は隣に大藤小学校、近隣には弥富中学校、黎明高校があり、津波発生時の避難場所として年に1度歩いて避難する訓練を行い、地域とのつながりを大切にしています。

10月には、黎明高校まで避難する訓練を行いました。「地震です。地震です。シェイクアウトしてください!」放送が聞こえると、すぐ机の下にもぐり頭を押さえ「ダンゴ虫ポーズ」をする子どもたち。0・1・2歳児は保育士の近くに集まり、体を小さく丸めながら静かにじっとして、その表情は真剣そのものです。第1避難場所の園庭に集まりその後、避難開始。5歳児は3・4歳児と手をつなぎ黙々と歩きます。0歳児は保育士におんぶされ1・2歳児はリヤカーや避難車に座り、保育士に声をかけてもらうことで安心して避難します。避難先までの風景や学校を見ることは、子どもにとっていざという時の戸惑いや不安を軽減させることができます。また保育士も、危険が予測される箇所を把握して歩くことで、共通理解することができ、連携がスムーズになりました。



保育所へ地震の揺れを体験できる起震車「なまず号」にきてもらい、5歳児が試乗しました。ガタガタと揺れる中、机の下にもぐり「ダンゴ虫ポーズ」をします。「大丈夫かな?」とちょっぴり心配そうに見つめる3・4歳児。「ぜんぜんこわくなかった」と言いつつも、訓練とは違う“揺れ”を実際に体験したことは幼い子どもにとって特別な緊張感があったようでした。地震などの災害に対し、不安を感じさせるのではなく、慌てず落ち着いて行動し「命を守る」という防災意識が高まるよう、今後もさまざまな体験を取り入れていきます。